

令和4年8月19日

報道機関各位

教育委員会事務局 文化課

令和4年度足利市民文化賞受賞者の決定について

本市における科学、芸術、文化財保護等の文化の発展に貢献し、業績が顕著な者を顕彰する足利市民文化賞について、本年度の受賞者が次のとおり決定しましたのでお知らせします。

1 受賞者（3名、敬称略）

〔諸芸〕 田部井 勝弘（たべい かつひろ）

86歳・田中町

- ・「<sup>きゅうえいかん</sup>久叡館」と名付けた自宅サロンで、地元の作家を中心とした自身のコレクションの中から作品を展示・公開する活動、サロンコンサートを長年にわたり継続している。
- ・令和元(2019)年に開催された久叡館コレクション展では、足利市立美術館をはじめ市内4会場で展示を行い、歴史に埋もれた作家を掘り起こし、活躍中の作家や将来を嘱望される作家まで展示するなど、足利の美術を通観して見せた。
- ・長年にわたり地元の作家への支援活動を続けており、足利の芸術文化への貢献は多大である。

〔文化財保護〕 石川 光子（いしかわ みつこ）

79歳・上波垂町

- ・足利市文化財愛護協会の理事、副会長として、長年にわたり文化財愛護協会の運営に尽力し、特に廃寺調査においては、中心的な役割を果たしている。また、ベテラン会員と若い世代の会員とのつなぎ役を担い、活動の活性化に寄与した。
- ・足利の文化財一斉公開、足利市歴史文化基本構想の策定などに参画し、市の歴史の再発見、記録に貢献した。

[文化財保護] 中村 恵三 (なかむら けいぞう)

76歳・横浜市都筑区

- ・足利工業大学（現足利大学）で本市の建築史研究を進めるとともに多くの建築技術者を輩出し、本市の産業界の発展に貢献してきた。
- ・平成3（1991）年から現在まで、足利市文化財専門委員を務め、歴史的建造物の調査、調書作成に中心的な役割を果たし、文化財指定・登録に欠かせない基礎資料の収集を行ってきた。
- ・平成29（2017）年に「足利の近代化遺産を考える会」を設立し、シンポジウムや近代化遺産巡りを主催し、文化財保護の啓蒙活動にも積極的に尽力している。

## 2 贈呈式

日時・会場については、11月に開催予定ですが、現在、調整中です

※市長より、賞状及び記念品（ブロンズ像、バッジ）を贈呈

## 3 参考

これまでの受賞者（昭和56年度～令和3年度）

個人：108名、団体：3団体

所管課	発表者		担当者		
	職名	氏名	職名	氏名	電話
文化課	課長	松葉 範幸	主幹	齋藤 和行	0284-20-2229